

科目名	臨床実習 3							年度	2026
英語科目名	Clinical training 3							学期	前期(通年)
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必※	時間数	45	単位数	1	種別※	実習
担当教員	宮本功三、青木伊之、後藤晃弘、杉本知、加藤健太、秋田雄大、有山敦士	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		

【科目の目的】

柔道整復師としての臨床における実践的能力及び保険の仕組みに関する知識を習得し、患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養うことを目的とする。

【科目の概要】

外部臨床実習施設において臨床実習指導者のもとで参加型の臨地実習を行います。

【到達目標】

医療人として必要な接遇を中心とした誘導、評価測定法を身につけそれを有効に利用し、患者に説明が出来ることを目標とする。また、共通症例では外傷のとらえ方を理解し他の疾患にも応用できるようにするだけでなく具体的な治療方法を学び実践できるようにする。

【授業の注意点】

1・2年次までの知識を総合的に使用する内容である。これまで学んだことを良く理解しないと討論に参加できないので資料等の見直しが重要となる。また、実際に外傷を想定した実技を実施するのでその心構えを持って参加してほしい。各外傷の特性の理解と、座学・実技で会得した知識・技術を反復しておくことが望まれる。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	実習先で最適なコミュニケーションを築くことができる。	実習先で良好なコミュニケーションを築くことができる。	実習先でコミュニケーションを築くことができる。	実習先でコミュニケーションを築く能力がやや不足している。	実習先でコミュニケーションを築くことができない。
到達目標 B	守秘義務や個人情報に細心の注意を払うことができる。	守秘義務や個人情報に概ね注意を払うことができる。	守秘義務や個人情報に注意を払う必要性は理解している。	守秘義務や個人情報に注意を払う能力がやや不足している。	守秘義務や個人情報に注意を払うことができない。
到達目標 C	受付で予診票の記入方法を完全に説明することができる。	受付で予診票の記入方法を大体説明することができる。	受付で予診票の記入する方法を理解はしている。	受付で予診票の記入する方法の理解がやや不足している。	受付で予診票の記入方法を説明することができない。
到達目標 D	臨床実習指導者のもと患者を愛護的に扱うことができる。	臨床実習指導者のもと患者に留意しながら扱うことができる。	臨床実習指導者のもと患者を愛護的に扱う必要性は理解している。	臨床実習指導者のもと患者を愛護的に扱うことの理解がやや不足している。	臨床実習指導者のもと患者を愛護的に扱うことができない。
到達目標 E	施術録の項目を完全に説明できる。	施術録の項目を大体説明できる。	施術録の項目について理解している。	施術録の項目を説明することの理解がやや不足している。	施術録の項目を説明できない。

【教科書】

柔道整復学理論編解剖学適宜レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題等を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

